



2024年3月期 第2四半期決算説明

2023年11月7日

 山一電機株式会社

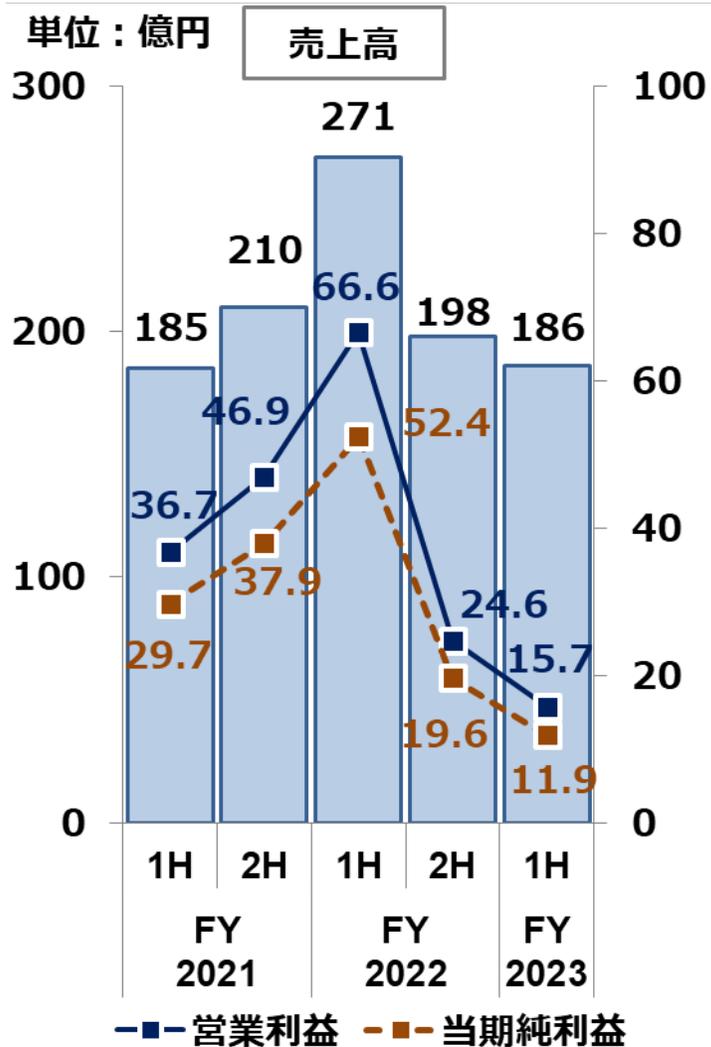
ご説明内容

- 【1】 FY2023 第2四半期業績結果
- 【2】 FY2023 通期業績予想
- 【3】 剰余金の配当（中間配当）及び 期末配当予想値修正

本説明資料内に記載の各事業名の略称について

事業名	事業名略称
テストソリューション事業	TS事業
コネクタソリューション事業	CS事業
光関連事業	OPT事業

業績結果



単位：億円	FY2022 上期実績	FY2023 上期		前年 同期比	前年同期 増減率
		8月4日 公表値	実績		
売上高	271	183	186	▲ 85	-31.5%
営業利益	66.6	12.5	15.7	▲ 50.9	-76.5%
経常利益	72.8	12.8	16.6	▲ 56.2	-77.1%
当期純利益	52.4	9.3	11.9	▲ 40.4	-77.1%
EPS (円)	250.41	45.19	58.24	▲ 192.17	----
BPS (円)	1741.63	----	1823.96	82.33	----

為替レート	FY2022 2Q	FY2023 2Q	増減
USD (円)	133.97	141.00	7.03
EUR (円)	138.70	153.39	14.69

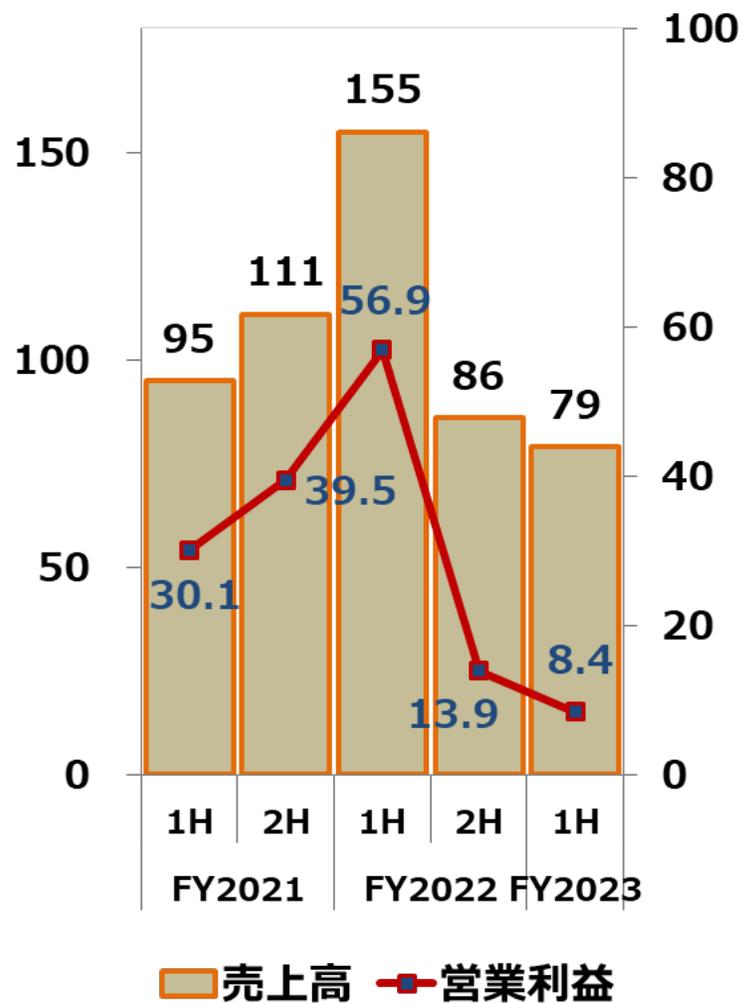
事業別業績結果

単位：億円		FY2022 上期実績	FY2023 上期		前年 同期比	前年同期 増減率
			8月4日 公表値	実績		
TS事業	売上高	155	77	79	▲ 75	-48.7%
	営業利益	56.9	5.0	8.4	▲ 48.4	-85.1%
CS事業	売上高	106	98	99	▲ 7	-6.8%
	営業利益	7.6	5.3	5.5	▲ 2.0	-27.4%
OPT事業	売上高	9	7	7	▲ 2	-25.8%
	営業利益	1.3	0.0	▲ 0.0	▲ 1.4	----
その他	営業利益 (連結調整額)	0.7	2.2	1.7	0.9	----
合計	売上高	271	183	186	▲ 85	-31.5%
	営業利益	66.6	12.5	15.7	▲ 50.9	-76.5%

TS事業 業績結果

単位：億円

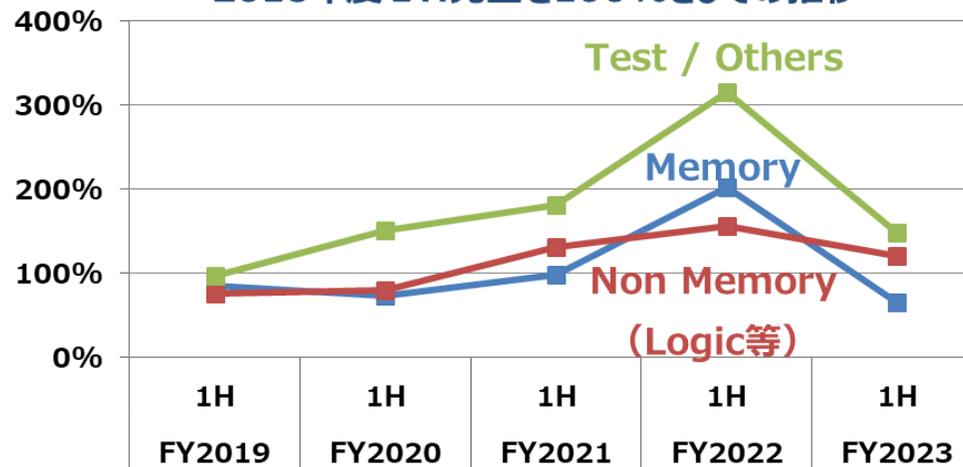
TS事業



TS事業	前年同期比	前年同期増減率
売上高	-75億円	-48.7%
営業利益	-48.4億円	-85.1%

- ◆ テスト用ソケットは、スマートフォン向け及びPC向け製品にて低迷する市場環境から需要減の影響を受けました
- ◆ ロジック半導体用ソケットは自動車向け製品を中心に一部顧客での調整はあったものの概ね堅調に推移しました
- ◆ メモリ半導体用ソケットはNAND/DRAM向け共に前年度下期からの市場悪化に伴う設備投資見直しの影響が続きました
- ◆ 原材料費や輸送費の高止まり、エネルギーのコストアップで経費が増加しましたが、生産性ならびに品質改善を行い最小限の影響に留めました

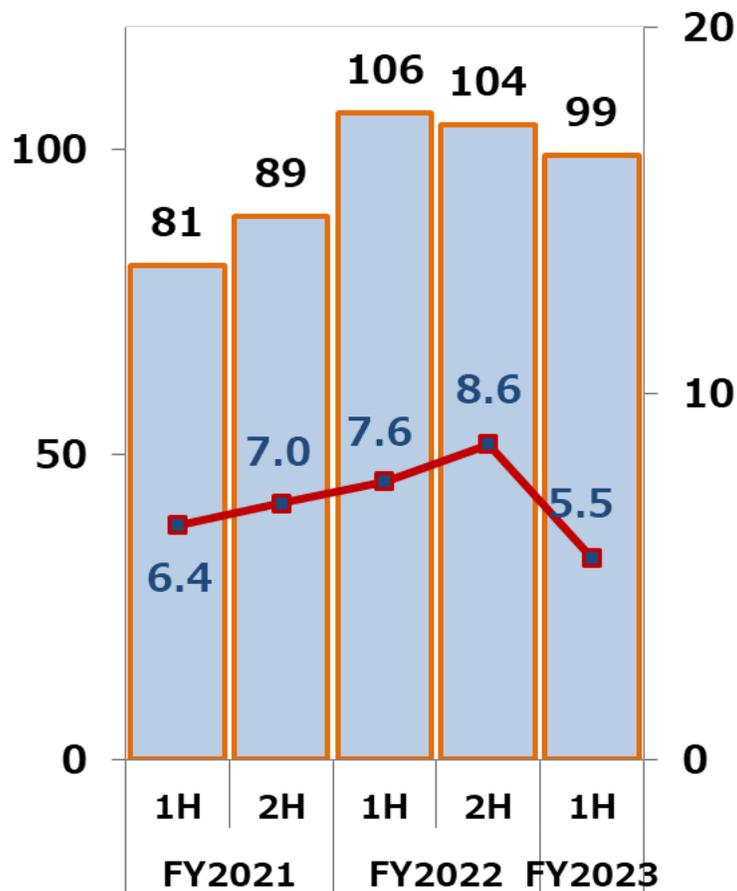
2018年度1H売上を100%としての推移



CS事業 業績結果

単位：億円

CS事業

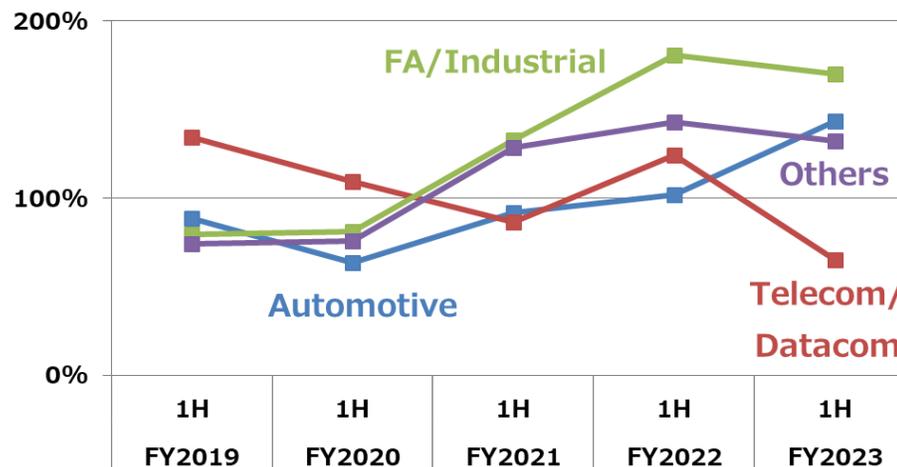


売上高 営業利益

CS事業	前年同期比	前年同期増減率
売上高	-7億円	-6.8%
営業利益	-2.0億円	-27.4%

- ◆ 車載市場向け製品は、主要顧客の生産台数増および新製品出荷開始もあり好調に推移しました
- ◆ 産機市場向け製品は、主要市場である欧州の一部顧客での在庫調整の影響を受けました
- ◆ 通信市場向け製品は、米中経済摩擦の影響が続いている中で、欧州では高速大容量伝送の需要拡大で堅調に推移しましたが、北米の主要顧客での在庫調整の影響を受けました
- ◆ 原材料費や輸送費のコストアップで経費が増加したが、生産性ならびに品質改善を行い最小限の影響に留めました

2018年度1H 売上を100%としての推移



為替影響

通貨	2022年度 2Q	2023年度 2Q	増減
USDレート (円)	133.97	141.00	+7.03
EURレート (円)	138.70	153.39	+14.69

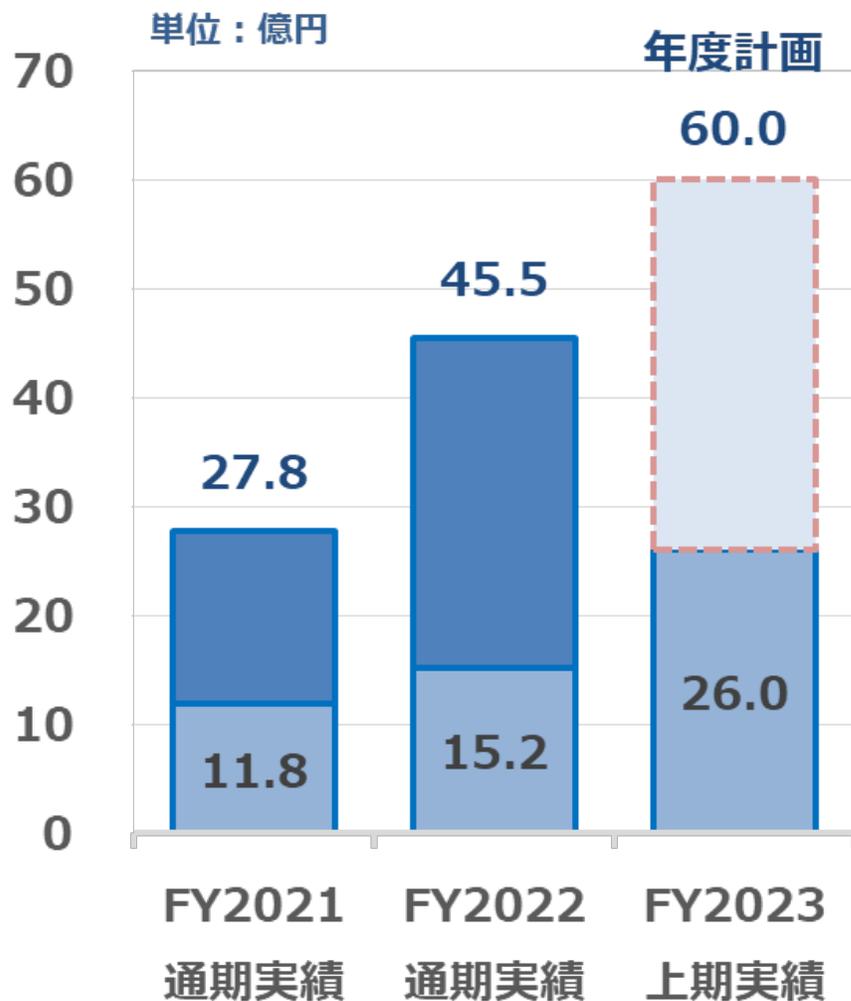


対前年同期為替影響額	
売上高	11.0億円
営業利益	3.2億円

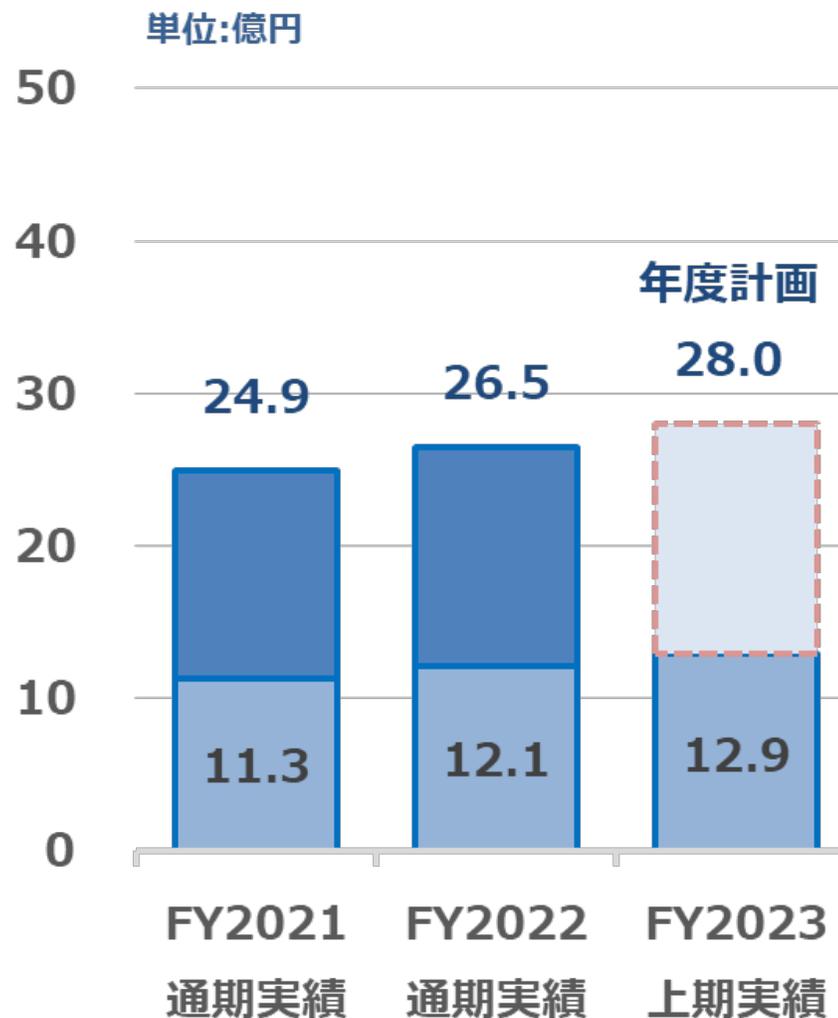
通期の為替感応度 (1円影響額/年間)	売上高影響額	営業利益影響額
USD	1.4億円	0.6億円
EUR	0.8億円	0.1億円

設備投資・減価償却費

設備投資額



減価償却費



上半期 ESG トピックス

◆ 指名・報酬委員会の設置に関するお知らせ

当社は、2023年6月28日に開催の取締役会において、取締役会の諮問機関として任意の指名・報酬委員会を設置することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 設置の目的

取締役の指名・報酬等に係る評価・決定プロセスの透明性及び客観性を担保することにより、取締役会の監督機能の強化、コーポレート・ガバナンス体制の充実を図るため、任意の指名・報酬委員会を設置するものです。

2. 委員会の役割

取締役会から諮問を受けた次に掲げる事項等の審議、取締役会への答申を行います。

- ・ 取締役会の構成に関する事項
- ・ 取締役の指名に関する事項
- ・ 取締役の報酬等の決定方針に関する事項
- ・ 取締役の報酬に関する事項
- ・ 後継者育成方針の検討
- ・ その他、取締役会が必要と判断した事項

3. 委員会の役割

- (1) 取締役会が選定した3名以上の取締役で構成するものとします。
- (2) 委員会の過半数は、独立社外取締役とします。
- (3) 委員長は、委員会の構成員である委員の中から、委員会の決議により決定します。

4. 設置日：2023年6月28日

上半期 ESG トピックス

◆ 佐倉事業所 新棟建設の進行状況報告

当社佐倉事業所敷地内に第二棟建設を進めており、2024年4月の稼働に向け順調に進んでおります。

本第二棟は、「建築物省エネルギー性能表示制度（Building Energy-efficiency Labeling System、以下「BELS」）」で5段階評価の最高ランクを獲得し、「ZEB Ready」認証を取得しました。第二棟の屋根に太陽光発電設備を設置予定であり、電力会社からの買電時と比較し、年間約180トンのCO₂を削減できる見込みです。

所在地	千葉県佐倉市大作1-4-1
建築面積	3,000㎡（予定）
延床面積	6,000㎡（予定）
投資総額	約15億円
資金計画	自己資金



佐倉第2棟完成予定図

◆ フィリピンでの土地取得および工場建設について

当社連結子会社であるPMI Holdings, Inc.が工場用土地を取得し、フィリピン第3工場の建設を進めており、2024年4月の稼働に向けて順調に進んでおります。

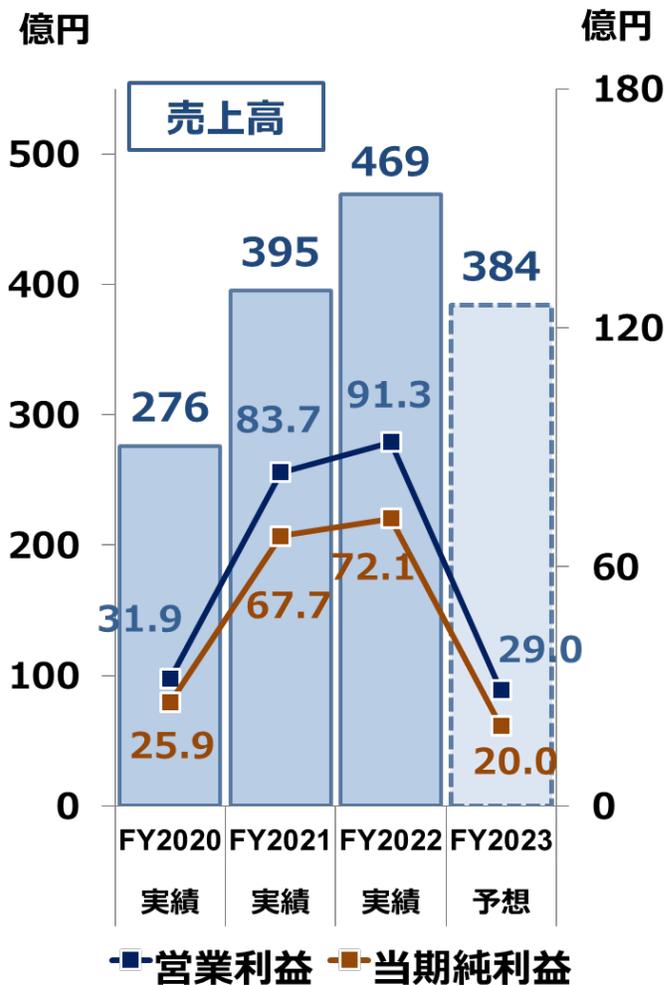
所在地	Lots 1-2 Block 5 Elysan Road, Light Industry & Science Park IV (LISP IV), Brgy. Bulihan, Malvar, Batangas Philippines	
取得土地面積	33,696㎡	
工場延床面積	7,065㎡（平屋建て）	
取得金額	土地：約9億円	工場建築：約11億円
資金計画	自己資金	



フィリピン第3工場完成予定図（正面）

FY2023通期 修正業績予想

下期計画の策定を進めるに当たり主要顧客と情報交換を継続してきた結果、スマートフォンを中心としたモバイル機器についての市場低迷からの回復が想定より遅れる見込みであり、下期も厳しい状況が予想されますが、自動車市場向け自動運転・ADASユニット等での半導体需要拡大に加え、メモリ半導体の投資再開を見込んでおります。また、損益面では、エネルギー価格及び原材料費・輸送費の高騰に加え、新工場建築に関わる経費等の支出増加を見込んでおります。



単位: 億円	FY2022 通期実績	FY2023 通期予想				
		期初予想	8月4日 公表予想	今回予想	前年 同期比	前年同期 増減比
売上高	469	420	未定	384	▲ 85	-18.2%
営業利益	91.3	66.0	未定	29.0	▲ 62.3	-68.3%
経常利益	94.5	64.4	未定	28.5	▲ 66.0	-69.8%
当期純利益	72.1	45.0	未定	20.0	▲ 52.1	-72.3%
EPS (円)	346.08	217.01	未定	97.50	▲ 248.58	----

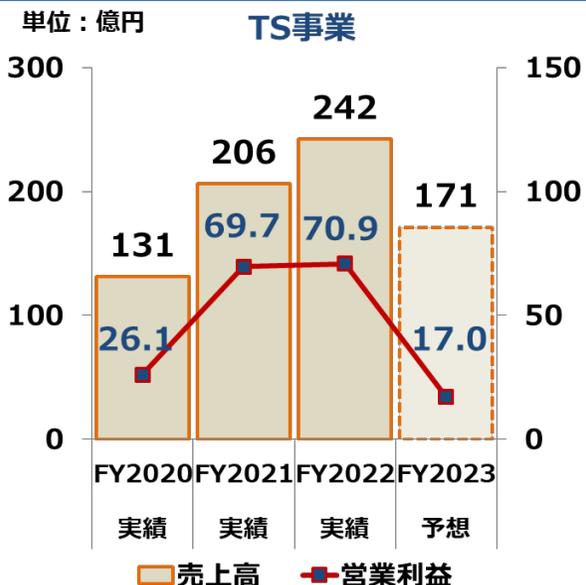
2023年度通期連結業績予想の前提となる為替レート

為替レート	FY2022	FY2023	増減
USD (円)	135.47	144.00	8.53
EUR (円)	140.97	155.00	14.03

FY2023通期 事業別修正業績予想

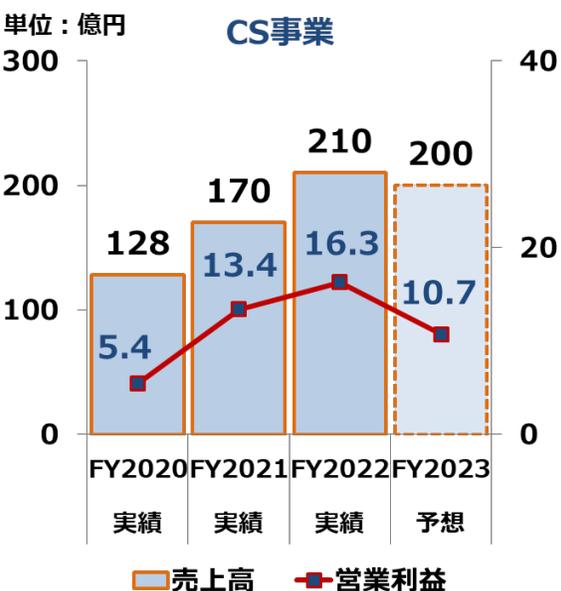
単位：億円		FY2022 通期実績	FY2023 通期予想				
			期初予想	8月4日 公表予想	通期 今回予想	前年 同期比	前年同期 増減比
TS事業	売上高	242	205	未定	171	▲ 71	-29.3%
	営業利益	70.9	50.0	未定	17.0	▲ 53.9	-76.0%
CS事業	売上高	210	198	未定	200	▲ 10	-5.1%
	営業利益	16.3	15.0	未定	10.7	▲ 5.6	-34.4%
OPT事業	売上高	17	17	未定	13	▲ 3	-21.2%
	営業利益	1.8	1.0	未定	▲ 0.8	▲ 2.6	----
その他	営業利益 (連結調整額)	2.2	0.0	未定	2.1	▲ 0.1	-8.4%
合計	売上高	469	420	未定	384	▲ 85	-18.2%
	営業利益	91.3	66.0	未定	29.0	▲ 62.3	-68.3%

FY2023通期 事業別業績予想



TS事業：

- ◆ テストソケットはスマートフォン向け製品を中心に来年度モデル向け新製品の開発期間になると見込んでおります
- ◆ メモリ半導体用ソケットはDRAM向けの投資再開を見込んでおります
- ◆ ロジック半導体用ソケットは自動車用MCUおよびADAS向け製品を中心に堅調な推移を見込んでおります



CS事業：

- ◆ 産機市場向け製品は、一部顧客での在庫調整が長引き、下期も続く見込んでおります
- ◆ 車載市場向け製品は、主要顧客の生産台数増加が見込まれることに加え新製品の出荷効果も期待でき好調な推移を見込んでおります
- ◆ 通信市場向け製品は、米中経済摩擦の影響が続くことに加え、北米顧客での生産調整及び在庫調整が長引き、下期も続く見込んでおります
- ◆ 原材料費や輸送費のコストアップによる影響が続くことが予想されますが、継続して影響を最小限に留めるべく活動を進めてまいります

【3】 剰余金の配当（中間配当）及び 期末配当予想値修正

2023年度 配当

◆ 剰余金の配当（中間配当）

	決定額	直近の配当予想 (2023年5月12日)	前期実績 (2023年3月期第2四半期)
基準日	2023年9月30日	同左	2022年9月30日
1株当たり配当金	18円	25円	35円
配当金総額	367百万円	----	725百万円
効力発生日	2023年12月6日	----	2022年11月30日
配当原資	利益剰余金	----	利益剰余金

◆ 2024年3月期の期末配当予想数値の修正

	年間配当		
	第2四半期	期末	合計
前回予想（2023年5月12日公表）	25円	41円	66円
今回修正予想	-----	12円	30円
当期実績	18円	-----	-----
（ご参考） 前期実績（2023年3月期）	35円	69円	104円

当社は、株主の皆様に対する安定的な配当の維持と適正な利益還元を行うとともに、財務体質と経営基盤の強化を図ることを利益配分の基本方針としております。また、当社グループは、先の中期経営計画で配当性向30%を目指すことを公表し、2018年度より継続して30%を維持しております。中間配当につきましては、第2四半期業績が期初予想を下回ったことから、1株当たり18円とさせていただきます。2024年3月期期末の配当予想につきましては、通期業績予想の修正に伴い、期末配当予想を12円へ修正させていただきます。ただし、最終配当金額については、2024年3月期 期末決算時の純利益額にて調整させていただきます。

なお、2024年3月期の期末配当につきましては、2024年6月に開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

ご清聴ありがとうございました

※注意事項

本資料は、2023年11月7日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更する場合があります。

問合せ先：経営管理部広報課 古畑 利之

TEL：03-3734-7661 FAX: 03-3734-0120

<http://www.yamaichi.co.jp>

E-mail: furuhata@yamaichi.co.jp